

東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区千代田二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

貸ビル・フーズ事業・保険代理業
雨宮商事株式会社
141 雨宮ビル
☎03-3342-0141

紙面について

●電話
03-6910-2201
(土日祝日除く)
9:30~17:30
●FAX
03-3595-6935

購読お申し込み

0120-026-999
1ヵ月定価税込み
(朝・夕刊) 3250円

配達・集金について

03-6910-2556

TOKYO Web

www.tokyo-np.co.jp

大震災被災者数

死者
1万5838人
行方不明
3647人
※15日現在、警察庁調べ

イレッサ訴訟

東京高裁 遺族側 逆転敗訴

国・企業の責任認めず

肺がん治療薬「イレッサ」に重大な副作用の危険があったのに適切な対応を怠ったとして、死亡した患者三人の遺族が、国と輸入販売元の製薬会社「アストラゼネカ」(大阪)に総額七千七百万円の損害賠償を求めた訴訟の控訴審判決で、東京高裁(園尾隆司裁判長)は十五日、国とア社の責任を認めた一審東京地裁判決を取り消し、原告側の請求を棄却した。原告側の逆転敗訴となった。

―関連3社説・判決要旨6面

判決は医師の副作用 十分だったかどうか。告知のあり方に影響を ア社は二〇〇二年七月 与える可能性がある。 の輸入承認時、医師向 原告側は上告の方針。 け添付文書の「重大な 副作用」欄に間質性肺 炎を記載しただけで、 主要な争点は、副作用 による死亡の可能性を 危険性の注意喚起が 致命的な副作用などを 知っていたはずだなど

記す警告欄や、死亡の 可能性があるとの表示 もなかった。 二審判決は、処方す る専門医は間質性肺炎 とア社の製造物責任を 否定。間質性肺炎の記 載が「重大な副作用」 欄の四番目だったこと

遺伝子変異を持つ患者に効果があ るとされる。厚生労働省による と、年間約8000~9000人 が新たに投与を受ける一方、呼吸 困難を引き起こす間質性肺炎など の副作用で今年9月末までに84 3人の死亡例が報告されている。

イレッサ 英国アスト ラゼネカが開発した肺がん 治療薬。がん細胞の特 定分子だけを攻撃するため、副作 用が少ない「夢の新薬」として期 待され2002年7月、世界に先 駆けて日本で承認された。特定の

いては投与と死亡との 因果関係を認めなかつ た。八百人以上の副作 用報告の死亡症例の中 には、副作用によると いえないものが相当あ る可能性も指摘した。 三月の一審判決は二 人の遺族に計千七百 万円の支払いを命じた。 イレッサをめぐる訴 訟は東京、大阪両地裁 で起こされ、二月の大 阪地裁はア社の責任だ けを認めて国の責任を 否定し、一審の判断は 分かれていた。大阪訴 訟は高裁での審理が続 いており、高裁の判断 は初となった。

イレッサ訴訟判決の判断対比表

	原告側の主張	一審判決		二審判決	
		一審判決	二審判決	一審判決	二審判決
製薬会社 の責任	設計上の欠陥がある	欠陥なし	欠陥なし	欠陥なし	欠陥なし
	指示・警告上の 欠陥がある	欠陥あり	欠陥なし	欠陥なし	欠陥なし
	(輸入承認時の添付文書の欠陥) (添付文書改訂後の欠陥)	欠陥なし	欠陥なし	欠陥なし	欠陥なし
国の責任	国の規制権限不行使 は違法だ	違法	違法	責任 認めず	責任 認めず

小宮山洋子厚生労働 相の話 イレッサの副 作用で苦しみを受けた 方々、亡くなった方々 に心からお悔やみを申 し上げる。国として法 決まで闘い抜く。

老朽原発の安全性検討

経産省 保安院に聴取会

枝野幸男経済産業相 は十五日の会見で、運 関し、専門家の意見聴 取会を原子力安全・保 安院に新設することを 評価手法の妥当性に加 えて、「原発の寿命」も テーマとなる可能性が